

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
カウンセリング論	小笠原 昭彦	講義	2		2	2	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	<p>カウンセリングに必要な知識およびカウンセリングの基礎的な理論と技法について、心理学や臨床心理学に基づいて講義を行います。また、傾聴についての演習、カウンセリングについての事例 DVD の視聴を通して基礎的な技法が習得できるようにします。</p>						
到達目標	<p>①カウンセリングの意義、②カウンセリングに必要な発達の視点及び心理的健康と不適応、③カウンセリングに必要なアセスメント、④カウンセリングの理論と技法、⑤カウンセリングの重要な概念、⑥カウンセリングの基本的技法について理解する。</p>						
回	学習内容						
1	オリエンテーション、自己理解に関する演習（社会的スキル）						
2	カウンセリングとは何か						
3	心理的不適応の諸問題						
4	発達と心理的問題（発達課題、発達段階と心理的問題）						
5	カウンセリングにおけるアセスメント①：アセスメントの基本、面接						
6	カウンセリングにおけるアセスメント②：観察、非言語的コミュニケーション						
7	カウンセリングの理論と技法（個人へのアプローチ）						
8	カウンセリングの重要な概念						
9	カウンセリングの基本的技法（DVD 視聴による学習）						
10	傾聴についての演習（次回の授業でレポートを提出）						
11	カウンセリングの技法①：基本的な関わり技法、基本的傾聴技法						
12	カウンセリングの技法②：感情の反映、意味の反映、明確化、面接の構造化						
13	カウンセリングの技法③：積極的技法、DVD 再視聴による技法の確認						
14	社会におけるカウンセリングと心理の資格、授業のまとめ						
15	試験（試験終了後試験内容について解説）						
予習内容 復習内容	毎週、次回の授業のレジメを配布しますので、事前にそれに目を通して来てください。授業後は、レジメおよびそれに各自が書き込んだメモ、また、補足説明を確認してください。						
教科書	教科書は使用しません。印刷資料を配付し、パワーポイントを用いて授業を行います。参考文献はその都度紹介します。事例、具体例も適宜取り入れます。						
成績評価	試験（80%）と傾聴演習（第 10 回に予定）のレポート（20%）によって評価します。試験では、基本的な概念、知識および基礎的な理論の理解を問う内容を出題します。配付資料等は参照不可。						
実務経験							
その他 特記事項	毎回出席を取ります。ただし、出席状況は成績には反映しません。6 回以上の欠席は評価の対象外です。出席票に質問、感想などを書いてください。その回答、補足説明は、次の授業の冒頭で行います。						